

12月になって急に寒さが増してきました。今年も残り少なくなってまいりましたが、お楽しみ会・もちつき会等、子どもたちにとっては楽しみなことが続きます。子どもたちと一緒にワクワクドキドキを楽しみたいと思います。子どもたちの驚きや喜びもご家庭でも受け止めていただき、一緒にワクワクドキドキしていただけたらうれしいです。

さて、年長組にとっては小学校へ入学するまで残り4ヵ月となってきました。親子共々、期待と不安が入り混じる頃ではないでしょうか。そこで、「安心して入学を迎えるため」大切にしたいことなどを挙げてみました。できなくてはいけないというのではなく、できると安心というようなことです。小学校を楽しみにできるように、「〇〇しなさい!」「〇〇しないと小学校に行けないよ」と叱るのではなく、「〇〇できるとかっこいいな」「すごいな」と大きくなることはうれしいこと、すごいことなんだという気持ちで関わっていけるといいですね。



### 入学前に、大切にしたい10のこと

#### その1 『はやね はやおき あさごはん』

夜は9時までに寝ていますか？

朝は7時までに起きましょう！

朝ごはんをしっかり食べましょう！



小学校になると、7:50~8:10には家を出ることになります。今のうちから早寝早起きを習慣づけとおくといいでしょう。また、朝ごはんを食べることによって、脳の動きが活発になって学習意欲もアップ！

#### その2 『あいさつ へんじ』

自分からあいさつ

名前を呼ばれたら「はい！」

「ありがとう」「ごめんなさい」



初めての先生、初めての友達、初めてのお兄さんお姉さん、いろいろな人と出会う小学校。あいさつや返事「ありがとう」「ごめんなさい」ができると仲良くなるきっかけとなっていきますね。

#### その3 『聞く・話す』

先生や友達の話最後まで聞けるかな？

困ったことや嫌なことを自分の言葉で言えるかな？

小学校では、話を聴くことも多くなります。今のうちから、話を最後まで聴くことでいいことがある、ちゃんと分かるということを経験できるといいですね。

また、困ったことや嫌なことがあっても言えずにいると、助けてもらえずもっと困ったことになることも…。自分の言葉で表せるようになるといいですね。



#### その4 『履く・着る・脱ぐ』

一人で着替えよう！

脱いだ服はきちんとたためるかな？

立ったままでも着替えてみよう

脱いだ靴もきちんとそろえよう

自立の第一歩。自分のことは自分ですることが増え、体育や給食の時間には、立ったまま着脱し、服をたたむこともあります。ちょっとずつでも経験しておくとうれしいですね。

#### その5 『自分のことは自分で』

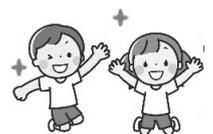
自分のものは自分で管理できるかな？

自分の荷物をもつ、持ち物の整理整頓、準備、片付けを自分ですることが増えます。

お世話するのではなく、お手伝いすることで、自分でできることを増やしましょう。

#### その6 『体をいっぱい使って遊ぶ』

体力があってこそこの学校生活！思い切り体をつかって遊んで、元気で健やかな体づくりをしましょう！



## その7 『自然に触れて』

自然に触れ、五感をフルにつかって遊ぶことで、諸感覚が養われ、豊かな感性が培われます。小学校になると、机上の学習が増えていきます。今のうちにたっぷり自然に触れて遊ぶ経験をしていくことが大切です。

## その8 『通学路を散歩』

環境ががらっと変わる小学校生活。親御さんと離れて通学するのもドキドキするものです。入学前に、学校までの道をお散歩しながら楽しいものを見付け「知っている」ことが通学時の安心感を生みます。また、視野の狭い1年生です。交通安全も知らせていくことで、親の安心にもつながりますね。



## その9 『いろいろなことに興味・関心を』

「なんだろう?」「おもしろそう?」「やってみよう!」という興味・関心に基づいた遊びは、学びに向かう力(意欲)を育てます。子どもが心動かしたことにとことん付き合い、一緒になって楽しんでいけるといいですね。

## その10 『自分で考え、行動する』

状況に応じて自分で考えて行動することが増えてきます。「〇〇しなさい」と言われたことをするのではなく、自分で考え行動していけるように、始めは大人と一緒に考え支えていくことで、自信をもって行動していけるようにしたいですね。



## ご家庭で大切にしてほしいこと

### お子さんと一緒に ワクワクする気持ちを楽しんで!

心配が故に「そんなんじゃ小学生になれないよ!」「〇〇しなさい!」といった声掛けをしてしまいそうですが、逆効果です。「こんなことするんだ♪」「おもしろそうだね」とワクワクする気持ちを親子で楽しんでください。安心して小学校を迎えられるでしょう。

これが一番大事!



## お世話からお手伝いへ

小学校入学は自立の第一歩です。今までは「お世話する」「やってあげる」が多かったのではないのでしょうか。これからは、「お手伝い」という気持ちでサポートしてあげましょう。急には無理です。子どもは大人に見守られる安心感があることで、一歩ずつ自立していきます。突き放すのではなくサポートを目指していきましょう。

## 子どもの目を見て話を聴いて

一日に一度だけでも目を見て話を聴いてあげてください。環境が変わり、ストレスを抱えることも多いです。聴いてもらえることが安心感につながります。また、学校の様子を話したくなり、親自身の安心感にもつながっていきます。

## 子どもの考えを聴き、一緒に考え、最後は子どもに決めさせて

自分で考えて行動することへの自信と自己肯定感にもつながります。未来を自分の力で切り拓いていく術を学ぶ機会にもなっていきます。

## 結果を急がず、じっくり待つことも大切

子どもなりのペースで、考えていく過程を大切にすることが思考力や判断力にもつながっていきます。結果だけではなく、その過程(がんばる気持ち、あきらめない気持ち、思いやりの気持ちなど)にも目を向けていくといいですね。

## ほめて ほめて とことんほめてあげて!

できることが増えてくると、なかなかほめることが少なくなってきます。ついつい「〇〇しなさい」「違っているよ」と指示・命令、否定しがちです。大人も子どももほめられることで、安心感や意欲が生まれてきます。人からほめられた時も素直に「ありがとうございます」と言えるといいですね。子どもはみんな聞いています。

読み書きはどのくらいできたらいいの？

ひらがな・カタカナの読み書きは小学校で学ぶので、入学前にきちんと掛けなくても問題ない。幼児期には読み書きへの興味・関心が育っていることが大切です。

パズルやブロック 絵合わせカードなど上下左右、違いの認知能力も伸びるよ

書ける書けない、つまずかないことよりも、つまずいたときにどうするかが大事  
分からなかった時に、自分で考えて、先生や親に聞いてみたり、調べたり、粘り強くあきらめずに取り組んだりするような力が育つことが大切。

親も一緒に文字や言葉を楽しんで！子どもの楽しいこと面白がっていることを一緒に楽しむ。その延長線上に、絵本に触れたり、文字を読んだり、言葉遊びをしたりして文字に対する関心感覚を育むことが大切。

字の書き間違いは、無理に直さなくていいの？

幼児期の発達段階として、字が逆さま鏡文字になることはよく見られる。間違いを正すことで興味を失ってしまうこともある。楽しく取り組んでいるのであれば、その興味や意欲を大事にしてあげましょう。

スタートカリキュラムとは？

心配しないで、ワクワクしながら入学を迎えて！

生活リズムをつくるのは 親の役目 早寝・早起き・朝ごはん

通学路の確認を 練習というよりお散歩で。「こんな素敵な場所がある」「ここには横断歩道がある」何度か楽しみながら歩いてみると、子どもも親も安心ですね。

遊び感覚で 前日に準備を 子どもと一緒に「鉛筆は入ったかな」「連絡帳はどうか？」「明日も楽しみだね」と思いながら寝ることができるといいですね。